

(資料 1 2) 所内公募型研究制度の実施状況

1. 平成 2 3 年度新発想・震災対応型提案研究

従来の奨励研究を廃止し、新たに新発想型提案研究制度を設置し公募を行った。また、平成 2 3 年度においては、震災を被った地域の復旧・復興に資するための研究課題を対象とした震災対応型提案研究も設置し公募を行い、新発想型提案研究 2 課題、震災対応型提案研究 5 課題、計 7 課題を実施した。

タイプ	課題 代表者	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評価 人数
					5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
新 発 想 型	渡邊英宏	ヒト脳健康影響指標を指向する無侵襲3D全脳生体鉄イメージング法の研究	1 年間	2,000	2	5	1	0	0	8
	富岡典子	藻類由来の有機炭素濃度の算出手法の開発（特異的プライマーを用いて）	1 年間	1,000	0	4	3	1	0	8
小計				3,000						
震 災 対 応 型	大原利真	放射性物質の多媒体モデリングと長期モニタリングに関する研究	1 年間	2,000	3	4	0	0	0	7
	中山祥嗣	津波堆積物に由来する飛散粉塵の測定および環境・健康影響評価に向けた戦略的サンプリング	1 年間	2,000	3	2	1	0	0	6
	金谷弦	大津波による干潟環境と底生動物への影響評価	1 年間	2,000	1	4	2	0	0	7
	芦名秀一	国立環境研究所における省エネルギー対策シミュレーションと事後分析に基づく持続可能なワークスタイルの実証研究	1 年間	760	0	5	2	0	0	7
	玉置雅紀	放射性物質汚染と塩害を同時に受けた土壌からの植物による汚染物質吸収に関する予備的研究	1 年間	2,000	0	4	3	0	0	7
小計				8,760						
(評価対象 1 2 課題、採択 7 課題)				合計	11,760					

2. 平成 2 4 年度分野横断型提案研究

平成 2 4 年度に向け公募を行い、3 課題を採択した。

課題 代表者	関連 ユニット	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評価 人数
					5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
高津 文人	地域、計測、生物	MRI 画像解析と同位体解析による栄養塩や温室効果ガスの底泥からのフラックス予測	3 年間 (24~26)	15,000	1	8	1	0	0	10
高見 昭憲	地域、リスク、計測、健康	都市大気における粒子状物質削減のための動態解明と化学組成分析に基づく毒性・健康影響の評価	3 年間 (24~26)	14,000	2	5	3	0	0	10
堀口 敏宏	リスク、計測、地域	内湾生態系における放射性核種の挙動と影響評価に関する研究	3 年間 (24~26)	15,500	1	5	4	0	0	10
(評価対象 3 課題、採択 3 課題)				合計	44,500					

3. 平成 2 4 年度新発想型提案研究

平成 2 4 年度に向け公募を行い、4 課題を採択した。

課題代表者	研究課題名	研究 期間	年度 予算額 (千円)	事前評価結果					評価 人数
				5 の 数	4 の 数	3 の 数	2 の 数	1 の 数	
牧 秀明	津波により堆積物と混合・沈降した流出油の分布・消長と底質環境影響評価に関する研究	1 年間	2,000	0	6	0	0	0	6
古濱 彩子	量子化学計算によるガス状化学物質と O3・OH との反応速度予測	1 年間	2,000	0	4	2	0	0	6
曾根 秀子	化学物質及び放射性物質曝露に対する長鎖ノンコーディング RNA の新機能の解明	1 年間	1,450	0	4	2	0	0	6
武内 章記	被災地沿岸の二枚貝中微量金属濃度の希薄化プロセスの解明	1 年間	2,000	1	1	3	1	0	6
(評価対象 4 課題、採択 4 課題)			合計	7,450					

【評価】

- 5 大変優れている
- 4 優れている
- 3 普通（研究の実施は可とする）
- 2 やや劣る
- 1 劣る